



テーマ

「生活の中のアクティビティを水辺から創造する」

2024年11月9日(土)-10日(日) (8日(金)エクスカージョン)

オンライン事前レクチャー：10月22日(火)18時から

風景塾 2024 11.9-10

ー土木×建築×ランドスケープのデザイナーー

風景塾は自然から都市に至る空間のデザイン及びその思考方法について、中部を拠点に学び、研鑽する場です。第4回は、名古屋市内をおよそ南北に貫流する堀川の上流域、名古屋城付近の水辺空間を対象に、グループワークでの実践を通じて、生活に溶け込む水辺とまちの一体的な空間デザインや提案手法について学びます。

応募締切：9月30日(月)

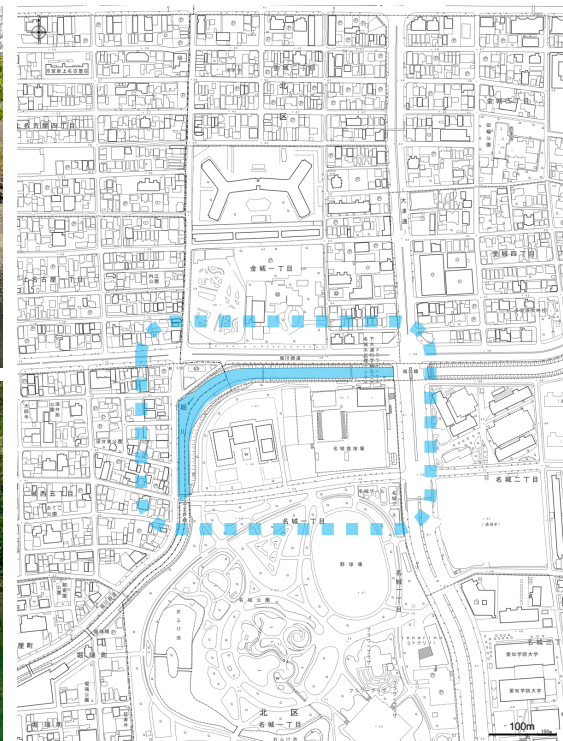
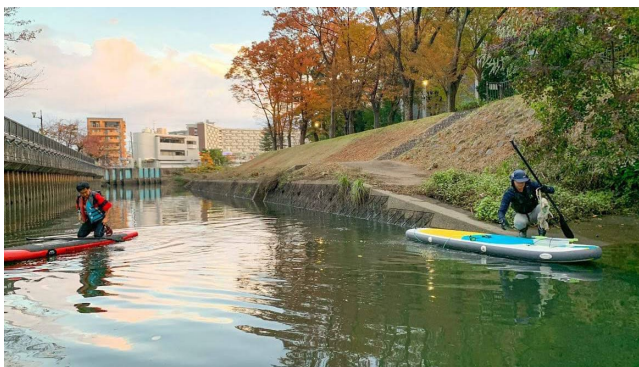
詳しくは風景塾ウェブサイト (<https://scapecamp.com/>) にて

「生活の中のアクティビティを水辺から創造する」

堀川は、1610年の名古屋城築城と時を同じくして開削され、上流部の庄内川から、名古屋城の西側を通して、名古屋都心部を南北に貫流する河川です。

対象となる敷地は、愛知県体育館の新設工事が進む名城公園の北端に位置し、左岸には野球場やテニスコート、右岸には住宅地が立地しています。公園側からは水辺空間に降りることが出来る一方で、その他の場所は駐車場や幹線道路などに面する部分も多く、生活に身近な水辺空間でありながら、その役割を十分に果たせてません。

商業空間でも住宅地でもない都市河川の水辺空間を私たちの暮らしの一部にどのように溶け込ませることが出来るか。今年の風景塾では、そのデザイン（かたちとしくみ）のあり方に関する提案を求めます。普段あまり気にすることのない都市の何気ない水辺空間が、市民に再知覚（reperception）され、新たなアクティビティが生み出され、周辺へ広がっていくような提案をともに考えていきましょう。



【開催概要】

- 日程：2024年11月9日(土)-10日(日) (8日(金)エクスカッション)
オンライン事前レクチャーを10月22日(火)に行います。
- 会場：名古屋市立大学北千種キャンパス
(名古屋市千種区北千種2-1-10)
- 参加条件：公共空間・地域再生に関心のある学生(大学、高専、大学院等)
または実務者等の社会人。
当日及び事前レクチャーに全日程参加できる方(20名程度)
- 参加費：学生3,000円、社会人10,000円。食費・宿泊費・交通費は含まず。
ワークに必要な物品・資材は運営委員会から支給する。
- 応募締切：2024年9月30日(月) 17:00
- 応募方法：氏名、所属、学生の場合学年、メールアドレス、電話番号、応募動機(200字程度)をご記入の上、申込みフォームかメールアドレスからお申込み下さい。件名は「風景塾2023への応募」とご記入下さい。参加可否は10月15日(火)までに応募者全員へメールにてお知らせします。

【プログラム】

10/22(火)	18:00-20:00	オンラインレクチャー
10/31(木)		課題提出
11/8(金)		エクスカッション
	午前	趣旨及び設計条件説明
		サイトの視察
11/9(土)	午後	グループワーク&エスキス (コンセプト+ダイアグラム)
		中間発表・講評
	午前	グループワーク&エスキス (空間設計)
11/10(日)	午後	グループワーク&エスキス (取りまとめ)
		最終発表・全体講評

【講師】

- ゲスト講師：
- 末永 三樹 (株式会社 ミュキデザイン 代表取締役/一級建築士)
 - 大前 貴裕 (株式会社 ミュキデザイン 取締役/一級建築士)
 - 万木 和広 (株式会社 万木和広建築設計 代表/一級建築士)
- 講師：風景塾運営委員会委員 (50音順)
- 伊藤 維 (名古屋造形大学大学院 建築デザイン専攻)
 - 大野 暁彦 (名古屋市立大学 ランドスケープデザイン研究室)
 - 川口 暢子 (愛知工業大学 計画研究室)
 - 出村 嘉史 (岐阜大学 都市・景観研究室)
 - 中村 晋一郎 (名古屋大学 国土デザイン研究室)
 - 秀島 栄三 (名古屋工業大学 都市基盤計画分野研究室)
 - 森田 紘圭 (大日本ダイヤコンサルタント株式会社)
 - 安田 尚央 (株式会社 ミュキデザイン)

- 主催：風景塾運営委員会
- 申込フォーム：<https://forms.gle/48kj4PNoe3keGeKG7>
 - メールアドレス：fukeijyuku.chubu@gmail.com
 - 風景塾ウェブサイト：<https://scapecamp.com/>

